

子ども学科 総合型選抜 自己表現 Q&A

保育者（保育士、幼稚園教諭、小学校教諭）になった時に役立つと思うことを、あなたの得意分野で自由に表現してください。（弾き歌いや楽器の演奏、パネルシアターや紙芝居や絵本の読み聞かせの実演、工作など）

◆選考方法

| 試験科目 | 内容 | 時間 |
|--------------------|--|-----|
| 自己表現 口頭試問 面接 | 自己表現は下記のいずれかの1つを選択 ・弾き歌いや楽器の演奏など【音楽表現】（3分） ・パネルシアター、紙芝居、絵本の読み聞かせなどの実演【言語表現】（3分） ・工作【造形表現】（10分） ・その他（自己PR（3分）、身体表現（3分）） | 20分 |

【共通】

- Q** 合否判定はどのように行われますか？
- A** エントリーシートと自己表現、口頭試問、面接等の結果を総合的に判断します。自己表現がうまくできなかったから即不合格とはなりません。
- Q** 口頭試問では何を質問されますか？
- A** 自己表現の内容や、エントリーシートに書かれていることなどについて質問します。
- Q** 子どもというのは何歳までを指しますか？
- A** 本学科における子どもとは乳児、幼児、児童を指します。

弾き歌いや楽器の演奏など【音楽表現】

| 試験内容 |
|--|
| 任意の曲1曲について、ピアノ、その他の楽器による演奏をしてください。また、弾き歌いや歌唱でも構いません。 ・時間は3分程度 ・楽器の種類は問いません。 ・本学で用意するもの：ピアノ（YAMAHA C7）、CDデッキ |

- Q** なるべく3分は曲を演奏したほうが良いのですか？
- A** 時間の長短は評価の対象とはなりません。3分を超えてしまう場合は、こちらから途中で打ち切ることもあります。
- Q** 音楽のジャンルはどのようなものを選択すればよいですか？
- A** 原則自由ですが、クラシックや子どもを対象とした楽曲が望ましいです。
- Q** 演奏や歌唱で間違えてしまった場合はどうしたらよいですか？
- A** 間違えてしまった場合には、自分の判断で演奏を続けやすいところ、歌いやすいところから再開してください。
- Q** どのような点に気をつけるとよいですか？
- A** 演奏や歌唱の技術のみを評価していません。思いを込めて表現できているかがポイントとなります。多少のミスで気落ちせず、あわてず落ち着いて、最後まで演奏や歌唱をしてください。
- Q** 歌唱の場合、伴奏としてCDをかけたいのですが、CDを持参してもよいですか？
- A** CDによる伴奏のみ可とします。その他の音源の場合は、再生できません。

パネルシアター、紙芝居、絵本の読み聞かせなどの実演【言語表現】

試験内容

パネルシアター、紙芝居、絵本、エプロンシアター、ペープサートなどを用いて読み聞かせを行ってください。
・時間は3分程度
・絵本や紙芝居などは指定しません。持参してください。

Q 3分に近いほど良いのですか？

A 時間の長短は評価に含みません。3分を超えてしまう場合は、こちらから途中で打ち切る場合もあります。

Q どのような点に気をつけるとよいですか？

A 子どもが興味を惹かれ楽しめること、絵本などの内容が伝わることを意識して行ってください。

Q 絵本や紙芝居などはどのような作品を選ぶとよいですか？

A 子どもを対象としていることを意識して選んでください。そのうえで自分が自信をもって内容を伝えられるものを選ぶとよいです。

Q 自分で作品を作ってもよいですか？

A 自分で作ったものは歓迎しますが、手作りが必ずしも評価されるとは限りません。自身で作成する場合は、子どもを対象とした内容や作品であることを意識してください。

工作【造形表現】

試験内容

子ども向けのおもちゃや掲示用の絵や作品（立体、平面問わず）を作成してください。
・時間は10分以内
・必要な材料、道具は持参してください。

Q 10分を過ぎた場合はどうなりますか？

A 10分を超えた場合は、製作途中の作品で評価します。

Q どのような点に気をつけるとよいですか？

A 芸術系の大学ではありません。おもちゃの精密さや絵の描写力などを評価の対象としません。あくまで子どもにとって興味を惹きやすいものを作成してください。

Q 作品を作成したのちに面接を行うのですか？

A はい。面接では作品に関する質疑応答などを行います。面接も評価の対象となります。作品をどのような意図で作成し、どのような工夫をしたかについて説明していただきます。

Q 製作に必要な用具は大学で準備してもらえますか？

A 事前にどのようなものが必要なかわからないため、大学で準備はしません。どのような道具を用いて作成するのかも評価の対象となります。ただし、電源は確保できないため、電気を使用する工具などは使用不可です。

その他【自己PR】

試験内容

高校までの活動等の実績について詳しく説明し、自分のことについてプレゼンテーションを行ってください。
・時間は3分程度

Q 自己PRとはどのような内容ですか？

A これまでの学校生活や社会活動について説明してください。例えば生徒会での活動、クラブ活動、教科の学習に関する取り組み、学校外や地域での活動、ボランティア活動などにおいて、特にめざましい成果をあげたもの一つについて、持参した作品や証明の書類、賞状などを示しながら、3分程度で自己アピールを行ってください。その後、その内容に基づき面接官が質問します。

Q どのようなことをすればよいですか？

A アピールしたい事柄について、自分がどれほど努力したのか、その事柄から何を学び、得ることができたのか、その事柄が現在の自分の生活にどのように活かされているか話してください。さらに、今後の自分の取り組みについての意欲や抱負なども伝えてください。

Q 証明する作品や書類、賞状がない場合はどうすればよいですか？

A 活動している際の画像や記録、証明書などでも大丈夫です。その活動の内容を証明できるものであればどのようなものでも構いません。画像や動画などを示すために、印刷したものやタブレット、ノートパソコンなどを持参していただいても差し支えありません。ただし、タブレットやパソコンの操作はご自身で行ってください。

Q パソコンやプロジェクターは貸してもらえますか？

A 大学側でパソコンやプロジェクターは準備いたしません。パソコンが必要な場合はノート型をご持参いただき、画面を面接官に示しながら話してください。

Q スマートフォンやiPhoneでの資料提示でもよいですか？

A スマートフォンやiPhoneを使用しての資料提示は不可とします。

その他【身体表現】

試験内容

音楽を用いて、身体で自由に表現してください。

- ・時間は3分程度
- ・表現の内容は、曲を用いた遊戯、リズムダンスを行ってください。
- ・音源はCDのみとします。
- ・動きやすい服装（ジャージ、体操服など）を着用してください。
- ・本学で用意するもの：CDデッキ

Q 身体表現とは何をすればよいのですか？

A 身体を使ったパフォーマンスとなります。音楽に合わせた手遊びやダンスが代表的なものとなります。

Q ヒップホップやロックミュージックなどを用いてダンスを行ってもよいですか？

A はい。ただし、本学科はあくまで保育者や幼稚園、小学校教員の養成を行っています。子どもを対象としたものをイメージして実施することが望ましいです。

Q 歌やセリフなどはあってもよいですか？

A 歌やセリフは身体表現をより効果的に演出するためのものであればあってもよいです。

Q どのくらいのスペースで行いますか？

A 縦横それぞれ5m程度のスペースを準備します。

Q どのような点に気をつけるとよいですか？

A あくまで子どもを対象としたものとして行ってください。ダンスの上手さを採点するのではなく、子どもが興味を惹き、子どもでも行えるものをどのように表現豊かに演出できているかを重要視します。

Q 身体表現の後に口頭試問・面接を行うと思いますが、動きやすい服装のまま面接等を行うのですか？

A 制服に着替えていただき呼吸を整えてから、口頭試問・面接を行います。